

# 「地域の水と共に生きる！」

- 災害に強い地域インフラを考える 「強靱な地域づくりにむけて」 -

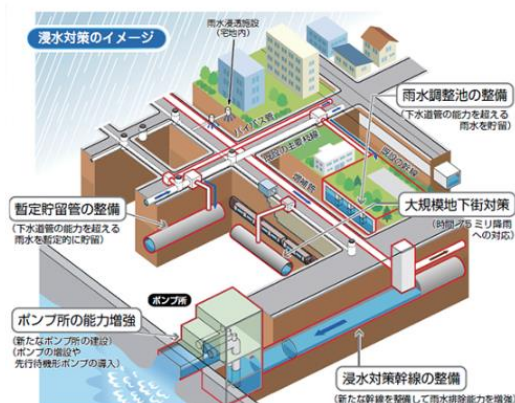
## 『数々の災害の後で-災害に強いインフラを』

ここ数カ月にわたり日本の各地で起こった災害は、地域の暮らしや経済活動に大きな爪痕を残していきました。多くのかけがえのない命が失われました。そして今なお被災地では復旧や復興の途上です。これらの災害は、日頃忘れられがちな地域のインフラの重要性を考えさせるものでした。



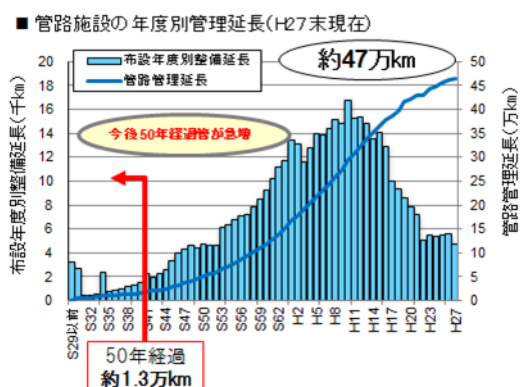
この10月から始まった国会の所信表明においても、甚大な被害をもたらした災害に対する速やかな復旧、災害時にも維持できるライフラインを目指す国土強靱化方針が挙げられました。気候変動に対する防災・減災及び国土強靱化に向けた対策を年内に取りまとめ、今後3年間に集中的な緊急対策を実施する方針です。

## 『減災・防災としての下水道インフラ整備』



下水道インフラは、「使った水の道」として「雨水の道」として、絶え間ない地域の水の循環を支えています。特に「雨水の道」として、集中豪雨や大型化が進む台風災害に対し、家屋浸水や道路冠水被害を緩和し防ぐ役割を担っています。また、本年の地震災害においても、老朽化管路の破裂による家屋浸水や道路冠水といった被害が発生しま

した。また、地震にかかわらず、30年超の経年管路において破裂等による道路陥没発生割合が急増することも、国交省が公表するデータにより裏付けられています。



下水道インフラに関する雨水管の拡大や貯水池の設置などの雨水対策は、こうした気候変動対策として有効です。管路を筆頭とする施設の老朽化対応や耐震化は、地震時の浸水・冠水リスクを抑えます。このように下水道インフラ整備の推進は、気候変動や地震に対する地域の防災・減災として有効な施策となります。

## 『公共インフラ強靱化に不可欠な地方自治体の推進力』

この10月に閣議決定された基本方針「復興・国土強靱化の推進」は、被災地の復旧・復興と共に、災害・減災対策としてのインフラ強靱化を押し進め、地域のインフラ整備の推進力となることでしょう。予算規模や事業の優先順位など、今後の国会での具体的な議論が待たれます。しかしながら、基本方針やそれに伴う国家予算の増額だけで解決できる課題ではありません。対象とすべき公共インフラが多岐にわたり、国家予算も無限ではありません。さらに、これらの強靱化予算を活かした地域の公共インフラ整備には、実施主体となる地方自治体による推進力も不可欠です。地方自治体が国家予算を活かし、地域のインフラ整備を推進できる体制を整えることができるかが重要な課題と思われます。

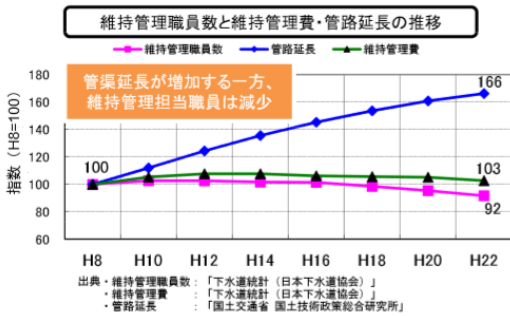


## 『地方自治体にとって推進力となる公民連携』

地方自治体においても、地域の安全な暮らしや経済活動を支えるインフラ整備の重要性を十分に意識されておられます。各自治体が発表され始めている来年度予算方針においても、公共インフラ整



備の推進を挙げている自治体は数多く見受けられます。下水道インフラもその例外ではなく、各々の自治体は抱えている課題を乗り越えながら公共インフラ整備を推進していく必要があります。



下水道事業においては、「技術者を筆頭とする人員の確保は？」、「補助金等を活用するうえでの補助裏財源の確保は？」、「一般会計負担の余力は？」、「住民負担となる公共料金への影響は？」……といった課題が指摘されています。これらをどのように解決するのか、下水道インフラ強

化の実現において重要な課題です。

公民連携は地方自治体が抱える下水道インフラ整備に関する課題や問題を解決する手法の一つです。技術ノウハウや人員を、自治体職員の増員や業務負担の増加なく確保する方法です。社会保障費の増加などによ

り政策的支出余力が限られる一般会計の負担を削減しながら整備資金を導入する方法ともなります。これらだけで全ての課題や問題が解決できるわけではありません。しかし、地域の防災・減災に向けた下水道インフラ整備の更なる一歩として、国の政策・施策を活用できる地域の体制づくりとして、公民連携は有効な一手段であると思います。

災害はいつ、そして、どのような規模で起こるか、誰にも予測はできません。安心して安全な暮らしはいつの時代でも地域に住む人々の願いであることは変わりません。残念ながら今年も甚大な被害をもたらす多くの災害を経験致しました。この経験を生かすこと、それが今回の「強靱な故郷づくり」という基本方針に込められた思いだと感じています。

国の基本方針として地域インフラ強靱化が推進される中、地方自治体が民間と一体となった公民連携の推進は、地域インフラの持続的な整備につながる新しい道づくりとなるのではないのでしょうか。

